■イギリス史の一次史料がオンラインで閲覧可能に

<イギリス政治・イギリス史>

British Online Archives ブリティッシュ・オンライン・アーカイヴス

英国労働党文書 1968-1994 年 British Labour Party Papers, 1968-1994

議会労働党は英国議会議員の内、労働党員から構成された組織として 1906 年に発足しました。本資料集 は 1968 年から 1994 年までに党内で催された会議や連絡会、議院内委員会(影の内閣)の議事録全てを収録 しています。1960年代から70年代にかけての英国政治は、プロヒューモ事件のスキャンダルなどを筆頭に 揺れており、この時期に労働党は二度政権を獲得しています。エドワード・ヒース率いる保守党政権の後を 受けて、再び労働党が政権を握った第二次ハロルド・ウィルソン政権期の英国は、ビジネス向けの電力を一 週間のうち三日しか供給しない"Three Days Week"問題や欧州経済共同体(EEC)への加盟残留問題に直面し ます。また、どの政党も議席の単独過半数に達していない状態(ハング・パーラメント)を経て、解散総選 挙後に労働党が政権復帰してから程なくして、保守党はマーガレット・サッチャーを保守党党首に指名しま した。その後1980年代に渡って、マーガレット・サッチャー率いる保守党政権時代が到来し、1981年アイ ルランドでのハンガー・ストライキやフォークランド紛争が起こりました。この間、労働党においては、党 首はジェームズ・キャラハンからマイケル・フット、ニール・キノックへと変わっており、当初は左翼的な 政策にシフトしていたものの、1983年の選挙で大敗北を喫した後に労働党内に「新現実主義」と呼ばれる 考え方が現れました。これは後にトニー・ブレアが台頭するきっかけを与え、1994年のジョン・スミスの 死後に暫定党首を務めていたマーガレット・ベケットを党首選で破りトニー・ブレアが労働党党首の座に就 きました。 労働組合の影響力の低下や党政策の変遷など 1968 年から 1994 年までの間に議会労働党では史上 もっとも大きな動きを伴います。ここに収められた議事録はこうした動きや変化の全てを反映しています。

- ■同時アクセス数無制限
- ■大学・学術機関向け買い切り(恒久的アクセス)
- ■メンテナンス費用不要
- ■British Online Archive はコレクション毎に買い切り となっています。2022 年 7 月現在 110 コレクションが 搭載され、今後も続々リリース予定となっています。
- ■複数コレクションでのご契約や全タイトル契約の 場合は特別価格の設定がございます。



FTE(学生数+教職員数)

3.000~4.999

5,000~9,999

10,000~19,999 20,000~29,999

30.001 以上

買い切り価格

価格は弊社までお問い合わせください

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※記載されている仕様(コレクション名・画像数など)は予告なく変更される場合がございます。

【収録コンテンツ】

*Containing 10,808 pages belonging to 55 documents housed in 4 volumes (Contributor: Labour History Archive and Study Centre)

Liaison Committee meetings

The Liaison Committee exists only when Labour in is power, and comprises party whips and selected ministers, who liaise between the Government and the Parliamentary Labour Party.

日本総代理店



FAR EASTERN BOOKSELLERS

KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル 〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761 075(353)2093 FAX (353)2096 092(751)6956 FAX (741)0821

Party meetings

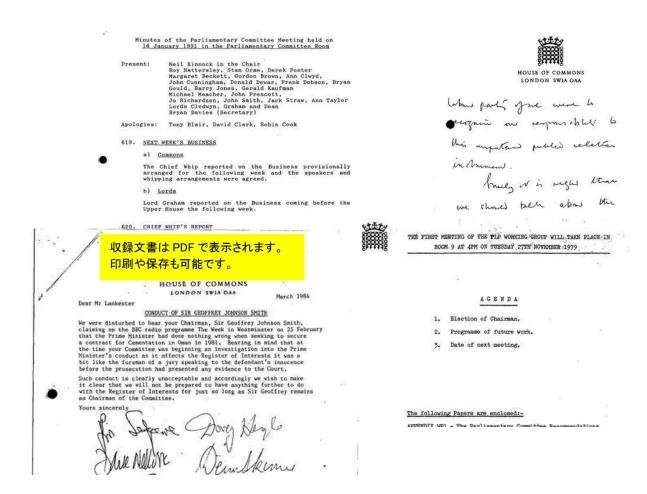
The Party Meetings are generally held weekly while Parliament is in session, and continue regardless of whether or not the Labour Party is in power. They provide a forum for all Labour MPs to question members of the Labour government or shadow cabinet, and to discuss, and vote on, policy, issues of leadership within the PLP.

Shadow Cabinet meetings

Comprises the minutes of meetings of the Shadow Cabinet, officially known as the Parliamentary Committee, for the periods when the Parliamentary Labour Party was in opposition.

Working Party on Standing Orders meetings

The Working Party on Standing Orders (WPSO), occasionally referred to as the 'Working Group', is an ad hoc body set up to examine issues relating to standing orders relating to policy matters, as well as the constitution of the Parliamentary Labour Party and its relationship with the national and constituency Labour parties.



無料トライアル実施中!! 詳細は弊社までお申し付けください

